

村野藤吾記念会

Togo Murano Committee

推薦理由は次の通りである。

阪田誠造氏は東京サレジオ学園の設計において、誠実で真剣な姿勢で臨んでいることが、その作品から十分に推察される。真の豊かさを求めた設計者と使用者の隅々に至る気配りは、豊かな暖かさで満たされ、数期に分けられた建設と、その後の使用時間の重なりの中に、建築への誇りと愛情を感じさせるものがある。また阪田氏の作品は、洗練され、練り上げられた細部によって支えられており、現代の技術に対する鋭い挑戦があると同時に、西欧と日本の伝統についての深い理解があることが読み取れる。そしてここに参加するいくつかの彫刻、ステンドグラス、家具などの製作者も、この建築の主旨を受けとめて制作している気持ちが伝わってくる。

建築は人びとに感化を与えるものでありたいとする願いを、設計者、使用者、協力者が、みごとに高い地点のものとして実現ことは、いまの建築界に重要なテーマを確認させてくれた。

なお、5月15日午後6時より赤坂プリンスホテル旧館シルバールームにおいて授賞式が行われる。

*「新建築」では6月号誌上で発表いたします。

貴誌にてもよろしくご掲載賜りたくお願い申し上げます。

4月20日

村野藤吾記念会

村野藤吾賞運営委員会